

令和2年度 第2回学校運営協議会 記録

日時：令和2年8月25日（火）15:00~

会場：南川小学校 会議室

進行 教頭

1 開会挨拶（会長）

・お忙しい中、お集まりくださりありがとうございます。限られた時間の中ですので、効率よく協議を進めていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

2 校長挨拶

・日頃より子どもたちの教育活動にご協力いただき、ありがとうございます。とりわけ町内会長様方には、それぞれの町内のことを取りまとめながら子どもたちの様子を細かいところまで見ていただき、ありがとうございます。

本来であれば、第1回目の際に学校経営方針やグランドデザインについて説明させていただくところではありましたが、新型コロナウイルス対策のため、紙面で失礼させていただきました。

昨日から2学期が始まり、おかげさまで子どもたちは元気に登校しています。2年生に1名転入があり、全校203名でスタートしているところです。

2学期は、運動会、遠足、南川フェスタなど多くの行事がありますが、頑張ろうとする子どもたちがいますので、できるだけ簡単に行事を中止にしないようにしたいと考えています。子どもたちには、「自分で考えて行動していこう」という話はしてありますし、一番怖いのは誹謗中傷だと思っておりますので、子どもたちには「優しい言葉を使おうね」と話しているところです。

また、体育館屋根やトイレなどの改修工事が始まっており、年内いっぱい工期となっています。

この後は、1学期の教育活動についてご意見をいただきながら、よりよい教育活動を作りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 協議（司会：会長）

（1）学校評価中間報告（1学期の教育活動を受けて）

①「学力向上部会」の取組について

・2学期はじめに、スタディーウィークを設け、「まなびのやくそく」の定着を図る。

・普段の授業から「話す・聞く」を意識させ、成果や課題をフィードバックしていく。

・生活、総合では、話し合ったことを受けて、2学期の活動を充実させていく。

★読書をより一層推進することはできないだろうか。校内では、読書の時間は落ち着いて読む、教師が読み聞かせをするなどを通して、読書に関心をもたせる。読む力、根気強さの向上も期待できる。家庭では、週末に本を借りて帰る、週末は親子読書をするなどの取組によって、親子の関わりが増えたり、言葉遣いの改善、気持ちを聞く・伝える機会、メディアから

離れたりなどの効果が期待できる。学級や学校全体で取り組んでいけるとよい。

(委員) 読書についての取組は、全校一斉で行うものなのか？

(学校) 児童の実態に即して、学級担任の裁量のもと行いたい。

②「豊かな心部会」の取組について

・1学期に実施できなかった行事も含め、2学期は行事が多い。フェスタの音楽発表や遠足など、他学年のよさを見つけたりふれあい班でのかかわりを見つめたりする機会を生かし、メッセージ交換をするなどして、互いの思いを伝え合う活動を設ける。

・自分が、自分や友達のために協働的に活動してよかったと思えるような取組を学級や学年で継続して行い、それが学校全体の共通取組事項としてもつながるようにする。

・学期はじめに、よい話し方・聞き方について学校共通の指導を行う。

(委員) アンケートは記名式か。

(学校) 今年度から保護者アンケートも記名式でお願いしている。

(委員) アンケート結果をみると否定的な評価をしている児童もわずかだが見られる。このような児童にはどのように対処するのか。

(学校) 教育相談等、個別に話を聞いたり、全教職員で見守ることを確認したりしている。

③「健康づくり部会」の取組について

・新型コロナウイルス感染症予防のため、対外大会がすべて中止になってしまった。高学年を中心にミニ陸上大会を実施。

水泳指導は中止になったが、その時期に球技やマット運動などを前倒して進めた。

課外陸上部の活動は、金管課外の時期と合わせて実施していきたい。

・新型コロナウイルス感染症の対応について

手洗いはできている。マスクは忘れている子が多いが意識はある。

「心身に関心をもち、自律的に生活する子」を育てるために、管理だけでなく、子どもが自分で守り、判断できる環境を設定していく。

(2) その他

・今後の教育活動について

子どもたちの思いや願いを生かす方向で工夫しながら行事を行っていきます。(6年生修学旅行、運動会、ふれあい遠足、南川フェスタ) その際、例年は委員の皆様にもご来賓としておいでいただく行事がありましたが、新型コロナウイルス対応ということで、児童と保護者、学校職員のみで行わせていただきます。また、保護者も人数制限をさせていただき、感染拡大防止に努めてまいります。

(委員) 暑い日が続くと思われるので、遠足は熱中症対策をしっかりとした

上で実施してほしい。

4 情報交換

(委員) 保護者アンケートを見ると挨拶や朝ご飯について、「はっきりはい」が7割や5割となっていることに驚きを感じる。家庭内で挨拶をしない、朝ご飯を食べさせていない保護者がいることは、今の傾向なのか、考えていかなければならないと思う。

(学校) 家庭や地域との連携には限界もある。学校は学校としてできる範囲のことをやり、それについて情報提供し、納得していただけるかどうか、いや違うということであれば協議していくということ。

(委員) 夏休み中、子どもたちに大きなできごとや変化はなかったか。

(学校) おかげさまで大きな事故やけがの報告はなかった。

(委員) アンケートによると、挨拶についての児童と保護者の見解にギャップがある。保護者は家庭内で挨拶をしていない姿を見て厳しく評価しているのか、児童は誰にでも挨拶しようとしているから数値が高いのか。ふわふわ言葉を使おうとしない児童は、友達のよいところを見つけようとする児童がいるのか。言葉遣いと挨拶は無関係ではない。

子どもたちから挨拶することはなかなか難しい。大人が大きな声をかけないと子どもは挨拶をしづらいのだと思う。子どもの挨拶をよくするには保護者に協力をもらうことがよい。

記名式のアンケートはよい。自分の意見に責任をもつことは大事なことである。

(学校) 保護者や地域全体が、子どもの挨拶をよくするためには、大人から声をかけなければだめなのだという発想に立っていただけるとありがたい。

(委員) 挨拶は地域によって差があると思うが、自分の地域の子どもたちの挨拶はよい。決まった人だけでなく、より多くの人と挨拶できることが大事なので、声を掛け合っていきたい。

横断歩道で止まってくれた車に向かって児童がお礼の挨拶をする場面を何度も見た。とてもいいと感じている。

(学校) 子どもたちのよさを教えていただきありがたい。

(委員) 外国人のお子さんも増えているが、差別がないよう学校も指導をお願いしたい。

(学校) 当校の特徴であり、小学校段階から外国籍の子どもと一緒に生活できることはメリットと考える。引き続き、一人一人を大切にしたい指導を心掛けていく。

(委員) 社会人を見ていると、子離れができていない親御さんもいる。子どもが大変だからという理由で親が苦情を言うてくるという事例がある。小学校は人格形成の基礎段階なので、朝の挨拶と優しい言葉遣い、相手を思いやる言葉遣いが大事。挨拶も表面上だけの挨拶か本当に心から言えるようになるかということ。学校の教育は、家庭の教育の上で成り立っていることで、難しさがあることと思うが、頑張っていたきたい。

(委員) 学校で困っていること、このような問題があるということもお聞かせいただきたい。町内なり各種団体なりが協力できることもある。自身を振り返ると子どもが小学生の頃の父親応援団での思い出がある。今後も協力していきたい。

(学校) 事案にもよるが委員の皆様にご相談できる範囲でお伝えし、助言をいただけるよう検討していく。

(委員) 「早寝早起き朝ご飯」で生活リズムを整えると気持ちにもゆとりができ、挨拶もできるのではないか。親の都合で就寝時刻を遅らせるようにならないよう留意したい。

(学校) 今後の教育活動に示唆を与えていただく内容をお聞きできた。ありがとうございました。

5 閉会挨拶 (副会長)

・新型コロナウイルスの影響で、1学期にできなかった行事も2学期に予定されています。子どもたちも私自身も楽しみにしています。ぜひ今後ともご支援ご協力いただきたいと思います。活気ある学校生活を皆さんと作っていきたいと思います。